

# 報告ダイジェスト

- ・5年ぶりの開催！～雪あそび合宿 2025～ （報告1）
- ・令和6年度BCP研修報告 （報告2）
- ・渋谷区高齢・障がい連携会議報告 （報告3）
- ・新しい仲間を紹介します （報告4）
- ・定期社員総会開催のお知らせ （報告5）

## 報告1 5年ぶりの開催～雪あそび合宿2025～

2月15日、16日（土日）、1泊2日で山梨県清里  
 に行ってきました！この2日間はとてもし  
 いお天気で、八ヶ岳や富士山を一望し、  
 大自然を満喫することができました。ご参加  
 の皆さま、ボランティアの方をはじめ、たく  
 さんのご協力をいただきありがとうございます  
 でした！

### ●久しぶりの雪あそび

宿泊行事は、近年夏のプチバカンスを  
 実施してきましたが、冬の雪あそび合宿は5  
 年ぶりの開催となりました。バス1台定員40  
 名で行なっているこの旅行は、年々貸し切り  
 バスの料金が高くなってきていて、参加費や  
 プログラム内容の検討も試行錯誤しながら行  
 なっています。寒い冬の開催ということもあ  
 ったか、夏よりも参加者の応募が少なく実施  
 できるのかどうか不安がありました。その  
 中でも楽しみにしてくれていた方々を中心  
 に、今回は総勢38名集い開催に至りました。



【雪あそび集合写真】

### ●バスレク・クイズ大会！

1日目恵比寿駅に集合後バスに乗り込み

宿泊場所の山梨県立八ヶ岳少年自然の家  
 に向かいました。バスの中では、山梨県にち  
 なんだクイズ大会が行なわれ、「山梨県が  
 収穫量全国1位のフルーツは次のうちど  
 れでしょう？」「1.バナナ 2.桃 3.ドラゴ  
 ンフルーツ」など簡単なものから、山梨の  
 方言のクイズで、「この服を着ると背中が  
 ももっちり」「これはどんな意味でしょう？」  
 など難易度が高いものも出題されました。  
 バスの隣同士になった人とペアになり、よ  
 りたくさん正解したペアにはお菓子の景品  
 が贈られました。



「バスレクを楽しんでいる様子」

### ●大人気ソリあそび&温泉

概ね予定通り宿泊場所に到着し、宿のオ  
 リエンテーション受け、各自持参したお昼ご  
 飯を食べました。その後はお待ちかねの昼プ  
 ログラムです。今回は、雪あそびコースと温泉  
 コースの2つのコースがあり、バスでスキー  
 場と温泉に向かいました。お邪魔したサンメ  
 ドウズ清里スキー場には、ソリあそびがで  
 けるスノーランドがあり、小さな山の上からそ  
 れぞれソリにまたがり、勢いよく乗りこな  
 していました。勢いがつき過ぎてヒヤヒヤす

る場面もありましたが、終始楽しく何回も滑っている様子が見られました。



【ソリあそびを楽しんでいる様子】

温泉コースは、アクアリゾート清里天女の湯に行きました。大きなお風呂は2種類あり、お風呂を満喫したあとは各々コーヒー牛乳など好きな飲み物を買ひ、カードゲームをしたりしてまったりと過ごしました。

### ●夕食・夜プログラム～プラネタリウム～

スキー場と温泉から帰ってきたら夕食の時間です。宿で配膳係を中心に用意してくれたミックス定食をいただきました。ご飯とお味噌汁がお替り自由だったため、驚くくらいたくさん食べている人もいました。

夕食を食べ終わりその後の夜プログラムでは、宿泊場所の施設内にあるプラネタリウムで星空を鑑賞しました。宿の方が丁寧に説明をしてくれて、誕生月の星座や星の移り変わりなどを学ぶことができました。あいにく、外の夜空は曇っていて直接星を観察できませんでしたが、約1時間の星空旅行を楽しみました。

### ●大盛り上がりの2次会

夜プログラムの後、お風呂に入り2次会を行ないました。持ち寄りでもたくさんいただいたお菓子和用意した飲み物で乾杯をして、歓談しました。会の中では、大学生ボランティアの卒業や誕生日のお祝いもしました。もっと長くやりたいとの声が多数聞かれ盛り上がりを感じ1日目が終わりました。

### ●2日目信玄餅工場見学&詰め放題

希望者のみで早朝のラジオ体操を行ない、2日目がスタートです。朝食を済ませ、部屋の片づけや掃除をした後、宿泊場所を出発しました。

バスに乗り込み次に向かった場所は、桔梗屋信玄餅工場です。到着後職員の方の案内で、信玄餅の詰め放題会場へ行き、袋と一人6個信玄餅を受け取りました。袋を伸ばして詰めていき、もっと入りそうだったら追加の信玄餅をもらいます。しかし、もらった分が入らないと1つ100円で買い取りになるということで、見定めて慎重に詰めました。一番多い人で12個!他の人は6.7個となかなか難しかったです。



【信玄餅詰め放題の様子】

その後工場見学をしてお土産を買ひ、昼食場所に移動しました。富士山の近くにある食事処でボリューム満点のほうとう定食を食べ大満足でした。旅も終盤となり、帰りのバスでは毎回恒例のカラオケ大会をしながら、無事に恵比寿に戻ってきました。

### ●今後に向けて

今回もたくさん笑顔と思い出に囲まれて楽しい2日間となりました。ケガや事故等なく安全に過ごすことができ安堵しています。ご協力いただいた皆さま誠にありがとうございます。ございました。今後も宿泊行事を行なっていくために、開催時期や内容等検討していきます。引き続きお力添えのほどよろしくお願い致します。(たまり場ばれっと職員 武井琴美)

## 報告2 令和6年度 BCP 研修

BCPとはBusiness Continuity Plan（事業継続計画）の略で、事業をしている団体が緊急事態に備えて事業を継続・復旧するための計画です。具体的にはどんなことをしているかという、非常時（感染症が広まった場合や、自然災害時）にどのような基準で事業を継続・縮小・停止をするのかの話し合いや、どの職員がどのような役割をするのか、どんな動きをすればよいかをあらかじめ決めておきます。次にハザードマップを確認してその地域の特徴を把握します。必要な物資（非常食や水、衛生用品、防寒用具、薬）などが揃えられているか、賞味期限の確認や追加に必要なものは無いか、実際に実物を見て確認をしました。また、通常時から出来る準備なども話し合い、倒れてしまうと危ないものは固定をしたり、水害時に感電の恐れのあるものは無いか見直したり、定期的に点検をした方が良いものなどを洗い出しました。さらに、各家庭の連絡先に変更が無いかや関係機関の連絡先なども再確認しました。

平和に過ごせていると、ついつい忘れがちになってしまいますが、いつ災害などが起きても不思議ではありません。そのこと自体は避けられないことかもしれませんが、そういった事態を予期して準備をしておくことで、いざという時に被害を抑えることが出来たり、早く復旧することにつながったりすると思いました。また、あらかじめ想定をして、動線を確保するために物を片付けよう、しばらく使っていないものがきちんと動か確認しようなど現在の状況が改善されることもありました。また、緊急時の動きや役割を決めておくことで、パニックにならず心の安定にもつながりそうだと感じました。今後も定期的に計画の見直しをしてプランの再確認とその時に応じたプランに変更することが大切だと感じました。（おかし屋ぱれっと 井上ムハンマド）

## 報告3 渋谷区 高齢・障がい連携会議

2月21日（金）、渋谷区役所14階の大集会室にて、渋谷区の高齢者福祉分野の職員と障がい福祉分野の職員が連携を深めていくための会議が行なわれました。会議には渋谷区の職員も多数の参加がありました。今回は「子どもが高齢になった時の親の思い」について、実体験も踏まえながら、渋谷区手をつなぐ親の会、会長の堀口智子さんに講演をしていただきました。また、渋谷区手をつなぐ親の会の会員に同テーマのアンケートを実施し、その内容についても解説していただきました。後半は様々な業種が混ざったグループワークを行ない、自分にとっては新たな視点の意見にとっても刺激を受けました。

この会は、障がいのある人が高齢になった時に急に利用するサービスが変わり、本人や家族や支援者が混乱してしまう、という問題を解決するために始まりました。福祉の分野では、児童、障がい、高齢分野などで制度や仕組みが違うことがあります。しかし、人には児童の時期もありますし、いつ障がいが出るかも分かりませんし、やがて高齢になっていきます。その時に分野が移っていく際にそれまでと大きく変わらずに、本人や家族、サポートをする人に安心してもらえるようにするためには、分野間での良い橋渡しが必要になってきます。

より良い支援をしていくために、分野を超えた連携が必要となっており、ともに意見を出し合うことで必要な制度や仕組みが見えてきます。これからも、様々な業種や職種の人たちが手を取り合い協力をすることで、大きな課題にも立ち向かっていける気がしました。

（おかし屋ぱれっと 井上ムハンマド）